

2022年2月21日

新型コロナウイルス感染に関するご報告

社会福祉法人 はるにれの里
理事長 木村 昭一

生活介護事業所ライフサポートさりゅう及び共同生活援助事業所あしり内のグループホームから、新型コロナウイルス感染者が確認されたため、次の通り経過報告させていただきます。

2022年2月8日、当法人の生活介護事業所ライフサポートさりゅう（以下、さりゅうと記載）に通所されております利用者のお一人が、午前中に咳をしているところを確認し、検温したところ発熱が確認されました。すぐさま早退し医療機関への通院調整、PCR 検査の運びとなりました。同時に濃厚接触者の条件となる発症2日前以降の行動を探り、接触した恐れのある方々のグループホーム4ヶ所を即日より閉鎖対応としました。

2月9日に保健所より「陽性」の連絡を受け、さらに9日になって別のグループホーム利用者にも発熱症状が見られたため、感染範囲の特定が難しいと判断し10日よりさりゅう全体を閉鎖対応としております。

2月11日には保健所管理の下、さりゅう及びグループホームの利用者及び職員55名のPCR検査を実施し、医療機関でのPCR検査結果を合わせると、2月12日の時点において利用者9名、職員2名の「陽性」が確認されました。

その後2月19日までに、利用者13名（グループホーム4ヶ所12名、在宅1名）、職員4名の合計17名が「陽性」に至っております。

陽性となった利用者が最後にさりゅうを利用された2月9日から7日間が経過した2月17日に8名の方が利用再開し、21日よりさらに3名の方が利用を再開するに至りました。現在、グループホーム3ヶ所が閉鎖中となっておりますが、保健所指導の下調整を続けてまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大が始まって以降、当法人及び当事業所においても感染対策を強化しながら支援を続けてまいりましたが、今回感染を広げる結果となってしまったことに対し、心よりお詫び申し上げます。

この間皆様には、ご心配、ご不便をおかけしますが、ご利用の皆様の健康と安全を第一に考え、一日も早く通常の生活に戻るよう対応してまいります。